

【協力会社紹介】最上軌道有限会社

○会社のモットー

『私たちは家族です』を合言葉に、先輩後輩関係なく注意し合い、笑い声があふれる社内環境作りを行っています。



沓澤安全主任

○当社の課題

人材不足のため、求人活動に力を入れています。

○重点実施事項

昨年度に車両物損事故を発生させてしまいました。同じ事象を繰り返し発生さないように、車両を運転する際のルールとして、バックする際の誘導、車両移動前の周回点検を実施しています。

また、通勤時の居眠り運転防止対策として、同乗者から運転手への声掛け、眠くなったら運転を交代する、などの取組みを実施しています。

○若手育成の方針、進め方

必要な資格の取得を進めています。資格取得後は優先的に役職に従事させ、先輩がフォローする環境作りを行っています。昔とは違い、罵声の飛び交う最上軌道では無くなりました。

○社長のコメント

今年度は保守作業エリアの変更や、建設グリーンサイト、建設キャリアアップシステムの導入など変化点が多い中、社員の協力もあり、難関をクリアすることができました。

しかしながら、社員の退職が依然多く、それを補う求人の難しさを実感しております。

現場では、BHオペレーター、誘導員、跡作業班の成長が日を追うごとに感じられ、頼もしさを感じています。

《トピックス》

○東北本線 弾性PCマクラギ交換

今年度から、保守作業エリアが仙南エリアから仙台エリア、利府エリア(仙台保技セ線路3科)へ変更となりました。また、昨年度まで古川興業様と合同チームで施工していた弾性PCマクラギ交換は、今年度から弊社単独施工となりました。

現在は、東北本線松島駅構内上線で弾性PCマクラギ交換を施工しています。立ち入り条件が悪いため、松島駅構内に仮設踏切及び仮設通路を作り、軌陸BH、軌陸車の



載線を行うことで、現場までの移動距離を短縮させることが出来ました。

施工本数としては、現在は季節列車の影響があり線閉間合が短くなっているため1日平均25本ですが、通常の線閉間合に戻れば1日平均30本になる見込みです。

着工が1ヶ月ほど遅れましたが、年度内に計画数量を完了出来るよう、進捗管理をしっかりしながら進めています。

安全面では、バックホウの旋回範囲内に入る際の誘導員との連携、隣接列車通過時の作業中断を徹底し、施工本数に縛られず、安全を最優先し施工しています。



《職場のホープ紹介》

○渡邊 克也(わたなべ かつや)32歳

2級機械施工管理技士を取得している渡邊君は、機械主任で頑張っています。一言でいうと万能で、BHオペレーター、BH誘導員から犬釘打ち、検査装置の取り扱い、機材の整備まで全てこなします。しかも几帳面でイケメン!今年度から任用軌工管になり、更なる活躍に期待しています。

《鉄道経験》 9年

《趣味》 キャンプ

《特技》 DIY

《夢》 宝くじを当てる

《抱負》 安全作業を心がけます



○大窪 竜二(おおくぼ りゅうじ)28歳

弊社で1番若い、イケメンな竜二君。体力バリバリです。仕事の覚えも早く、記憶力も良い大窪君は、列車見張員、MC運転者、チェーンソー作業者、刈払、危険物等々、たくさんの資格を所持しており、渡邊君に続く2番手のBH誘導員です。

道具の準備の抜けがなく、教えた事はすぐにメモを取るなど、これからの成長が楽しみです。来年度は軌作責を取得し、更なるレベルアップに期待します。

《鉄道経験》 3年4ヶ月

《趣味》 スポーツ

《特技》 料理

《夢》 安定した生活を手に入れる

《抱負》 無病息災

